

第153回 エフエム栃木放送番組審議会 議事録

1 開催年月日 平成21年11月12日(木) 11:00~12:30

2 開催場所 宇都宮グランドホテル

3 委員の出席 委員総数 8人  
出席委員数 7人

(1) 出席委員の氏名 青木 敬信(委員長)  
早川 富美子(副委員長)  
片岡 真理  
片山 貴之  
古磯 勝子  
島田 恭子  
森内 律子

(2) 欠席委員の氏名 須賀 英之

(3) 放送事業者側出席者 神野 俊彦(代表取締役社長)  
池田 喜一(取締役放送部長)  
佐藤 望(放送部部長代理)  
平沢 友幸(放送部)

4 議題 (1) 番組の試聴及び意見交換  
(2) その他  
(3) 次回開催日程について

5 議事の概要

(1) 番組の試聴および意見交換

8月29日及び9月26日に放送した「ツインリンクもてぎ FUN!TIME」について、試聴と意見交換を行った。

事業者 今回は、毎週土曜日の9:00~9:20に放送しているエフエム栃木制作の「ツインリンクもてぎ FUN!TIME」について、8月29日及び9月26日放送分をお聴きいただき、ご講評をお願いします。

この番組は、DJ エイミーとDJ アトムとの2人が、国際的なサーキット場である茂木町の「ツインリンクもてぎ」の様々な魅力を紹介するものです。サーキットで行われる大きなレースはもちろん、体験型アウトドア施設、その他の施設などをDJが実際に体験してその楽しさを伝えます。

本日は、20分程度のダイジェスト版を試聴していただき、ご意見を伺いたいと存じます。前半部分は、9月26日に放送したインディジャパンのレースの様、後半部分

は、8月29日に放送した子供達の1ヶ月キャンプの様子であります。

## 【 番 組 の 試 聴 】

委員 2人のDJの先輩、後輩の関係が、楽しく心地よく聞こえた。イヤミのない2人のノリが爽やかで、聞いていて疲れない感じがした。レースの様子のリポートも、適度な時間の長さであったと思う。2人のコンビネーションの良さが伝わってきた。

委員 レース編では、アトムが観客となりきり、素のまま伝にわってきて、レースの楽しさは伝わってきた。一方で、アトムはいいキャラクターであるので、仕事として楽しさを伝える努力も必要ではなかったか。

キャンプ編では、コーディネーターの崎野さんの言葉が感動的・人生訓的であり、自分としても気づかされた感がある。

委員 エイミーのリポートは明るく元気で声にハリがあり、良いDJだと感じた。アトムは素を出して楽しい面もあるが、事前調査不足の感があり、仕事としてのコメント等に物足りなさを感じた。

キャンプ編では、崎野さんの話の時にBGMを入れないなどの工夫があり、リスナーに直に伝わるような良い構成であった。ナレーターのナレーションもとても心地よくわってきて好感が持てた。原稿を書いたディレクターの感性が素晴らしかったことと、ナレーターの話し方がとても良かった。逆に、2人のDJの最後の締めくくり部分は、それまでが熱い雰囲気だったので、もう少し工夫が必要ではないかと思った。

委員 レース編では、エイミーとアトムのリポートから、現場のわくわく感が良く伝わってきた。欲を言えば、現場の映像や情景をイメージできるような具体的なリポートが欲しかった。ワーヤスゴイとかの擬音だけではなく、言葉で伝える工夫を望みたい。全体的には、楽しさがすごく伝わってきた。

キャンプ編は、自分に向けて言われているようであり、良い番組であった。

委員 エイミーのリポートは、テンポと流れがすごくいい。以前に試聴したツインリンクからのリポートより、はるかにいいモノとなっている。

キャンプは、企画自体がとても良かったと思う。子供と接していてマーマーは通じないので、こうした方向性には共感する。

委員 レース編では、アトムのテンションが上がるのはやむをえないにしても、もう少し情景を伝える工夫が必要ではなかったのかと思う。

キャンプ編は、リスナーにより捉え方は色々あるものと思うが、私としては、ナレーションがわざとらしく聞こえた。もう少し自然体の方が良かったのではないか。逆に、2人のDJが最締めた部分が素晴らしかったと思う。アトムのいい声と人柄の優しさが伝わってきた。また、キャンプを終えた子供たちの声が聞きたかった。

委員 キャンプ編では、崎野さんの考え方なりネライを放送してもよかったのではないか。さらに、子供たちの感想があると、キャンプのネライなりが番組としてわかりやすかったのではないかと思う。

事業者 この番組のテーマは、現場の楽しさを伝えようとするものであり、現地で見ているお客のノリで楽しさを伝えようとするものである。一方で、現場には行けなかったリスナーが情景を思い浮かべることができるレポートも必要ではないかと思う。

キャンプ編は、何日か追いかけて取材しており、DJ が同じ体験をしながら子供の声を伝えてきた。

委員 キャンプ編を来年も引き続き放送するのであれば、今度は、子供達の成長した様子を子供達の声で聞きたい。

委員 キャンプ編は、リスナーによっては感じ方が違うということもある。主催者のホンダ側も楽しいイベントではなく、社会貢献とか違う何かを目的としている感もある。ホンダの趣旨やこのキャンプの本質をどう番組の中で活かしていくかも大切だと感じた。

委員 キャンプ編は、崎野さんの話が大部分の構成であったが、子供が沈んでいるようにも聞こえた。子供に視点を当てた番組構成もいいのではないか。

委員 キャンプが終了し、家に帰る時に子供たちが元気に帰っていくのか、落ち込んで帰っていくのか、そういった様子も番組の中に入れてほうが良かったのではないか。

( 2 ) その他

なし。

( 3 ) 次回開催日程について

次回の開催を 12 月 10 日 ( 木 ) にすることについて、全出席委員の了解を得た。

時間は 16 時 30 分から 17 時 30 分まで、場所は会社会議室とする。

6 答申または改善意見に対してとった措置および年月日

なし

7 答申または意見の概要を公表した場合、公表の方法および年月日

( 1 ) 放送 : 11 月 29 日 ( 日 ) 午後 7 時 55 分の「レディオベリー インフォメーション」内。

( 2 ) 書面 : 本社事務所に備え置き。

( 3 ) インターネット : エフエム栃木ホームページ内。

8 その他の参考事項

なし